

平成26年度第2回富田林市入札等監視委員会（会議の概要）

1. 開催日時 平成26年8月26日（火）午前9時30分～

2. 開催場所 富田林市役所 2階 201会議室

3. 議 題

(1) 入札及び契約手続きの運用状況等について（平成26年4月～6月）

①工事の発注状況について（報告）

(2) 発注工事（抽出事案）に対する説明及び審議（平成26年4月～6月の3ヶ月分）

① 「H26高辺台一・二丁目水道管敷設替え工事」

② 「富田林市立彼方小学校⑦・⑫棟耐震補強工事」

③ 「平成26年度路面標示設置工事（単価契約）」

④ 「平成26年度街路灯維持補修工事（単価契約）」

⑤ 「平成26年度道路反射鏡設置工事（単価契約）」

【質問・意見等】

委 員：案件①と案件②は同じ業者が落札しているが、1か月程の間に高額な案件を2件も契約しているが問題はないのか。

事務局：両案件とも最低制限価格での入札で複数社での抽選。抽選は電子くじを使用しているの、何ら問題はないと考えている。

委 員：4月から6月に行われた入札では、最低制限価格を超える価格での落札は一件しかない。1月から3月に行われた入札では最低制限価格では無い落札が9件あった。最低制限価格は国の基準を採用しているのは分かるが見直す考えはないのか。

事務局：4月から6月に発注される案件は高額なものが多く、会社としては一年間の売り上げを確保する意味からも、多少は無理してでも落札したいと考えての入札と考える。逆に1月から3月は少額の案件が多く、他の仕事も忙しい時期であるので、十分な利益が見込める金額でしか入札を行わないためそのような結果になっていると推測する。

委 員：案件③、④、⑤の単価契約だが、低い金額で入札している会社と上限金額で入札している会社があるが、なぜこのような差がでるのか。また一番高く入札している会社でも予定価格と同額だが、予定価格が高いのではないのか。

事務局：単価契約の案件なので、発注は必要が生じた時に行うことになる。業者側から見ると他の仕事の合間で仕事をするのが可能。そのため経費等を安く抑

えることが出来ると判断した会社が低い額で入札したものとする。また辞退している会社の理由を見ると、積算が合わないというもの。予定価格を事前に公表しているため、見積もりが予定価格を上回った場合は入札せずに辞退をするため、このような入札結果になったと考える。

委員：案件⑤の単価契約で、かなり安く落札しているが、資材等の品質は保てるのか。

担当課：はい。規格があり、材料の確認をしている。

委員：街路灯の維持点検工事は電球の交換の仕事と思うが、落札した会社の見積単価が他の会社の見積単価の10分の1以下というものもある。金額のほとんどが電球の器具代と思うが、仕入れ等大丈夫なのか。

担当課：電球自体はそれほど高くない。金額のほとんどが取り替えに使用するリフト車の費用や労務費。その部分で経費を抑えられれば低い金額で入札ができる。

委員：学校の耐震補強工事だが、今年は最低制限価格で落札している。例年は落札率が高かったと思うが、工期などの制限は今回なかったのか。

担当課：いいえ。主要な部分は夏休み中の施工が必要で条件は変えていない。今回の耐震補強工事の中に老朽化した校舎の改修も含まれているので、その部分で使用する部材が安く入手出来るならば、入札価格を押さえることが出来るかもしれない。

4. その他

- (1) 次回の開催日時について
- (2) 議事録の署名委員と抽出委員の指名について
- (3) 委員の任期について

5. 出席者

委員 3名、工事関係課 7名、事務局 4名